



Title	都市社会学 : 昭和28年度特殊講義案 第11巻
Author(s)	鈴木, 栄太郎
Issue Date	1953
Doc URL	<a href="http://hdl.handle.net/2115/77384">http://hdl.handle.net/2115/77384</a>
Type	manuscript
Note	東洋大学社会学部大学院社会学研究科講義案。都市の生活構造。都市の空間的秩序。
File Information	N021_013S28.pdf



[Instructions for use](#)

NOTE BOOK  
Special Quality

都市社会学

二十八年  
特殊讲义  
第十卷

都市の生活構造

都市の空間的秩序

A  
123



No.123

HIGH CLASS

都市に於ける空間的秩序

一、序説—社会的空間 (土地の上に描かれた)

二、弘報としての広告に於ける空間

三、都市の増大と空間の拡大—概観

四、園の園子園の拡大 (都市的規模)

五、都市の内外に於ける存在。採心(社会)

園の空間的構造

五、三種の都市生活地

六、人は何故植物より生れはかり植物

的なる)

地獄的

第二章 都市生活の空間的秩序

序説

この空間的秩序とは、人の生活

物次第が都市空間に集積して生じる

分散したりする。秩序の中心に存在する。

規律性、意味するものはない。

都市空間の空間的秩序は、社会的

秩序の中、地上に投影して生じる規律

性を意味する。人の生活や物次第の量や

動き、そのものは、都市が社会的秩序

としての意味をもつ結果に於けるのみ

問題とされる。

特定の機能の秩序関係又は社会的

一定の地域より狭くなるといふこと。

終一は東京の地域をおつくりした。これは、東京の中心地

の女子地域を相対的に思ふ。これは、東京の中心地

を合意して、東京の中心地を形成する。これは、東京の中心地

を合意して、東京の中心地を形成する。これは、東京の中心地

を合意して、東京の中心地を形成する。これは、東京の中心地

を合意して、東京の中心地を形成する。これは、東京の中心地

を合意して、東京の中心地を形成する。これは、東京の中心地

を合意して、東京の中心地を形成する。これは、東京の中心地

を合意して、東京の中心地を形成する。これは、東京の中心地

を合意して、東京の中心地を形成する。これは、東京の中心地

を合意して、東京の中心地を形成する。これは、東京の中心地

を合意して、東京の中心地を形成する。これは、東京の中心地

を合意して、東京の中心地を形成する。これは、東京の中心地

位更の御から云へは

① けれもし豆腐店の量は向ふから近づいて来

て知らずのて手か、菓屋の看板は五三手

行つて近づく、豆腐店も豆腐の味は

位更は豆腐店の豆腐が満ちます可き

ので、あつても知らず、練豆の豆腐かどこ

誰か造り、あつても知らず、練豆の豆腐かどこ

けれもし菓を購入すは物令はそれか

位用あは菓で手か、あつても知らず

位用あは菓か、あつても知らず

位用あは菓か、あつても知らず

豆腐店の豆腐は、高者として、豆腐を知らず

豆腐店の豆腐は、高者として、豆腐を知らず

豆腐店の豆腐は、高者として、豆腐を知らず

豆腐店の豆腐は、高者として、豆腐を知らず

① 豆腐 (高者として)

豆腐 (高者として)

豆腐 (高者として) の広告に依り、空間

豆腐 (高者として) の広告に依り、空間

豆腐 (高者として) の広告に依り、空間

豆腐 (高者として) の広告に依り、空間

豆腐 (高者として) の広告に依り、空間

豆腐 (高者として) の広告に依り、空間

豆腐 (高者として) の広告に依り、空間

豆腐 (高者として) の広告に依り、空間

豆腐 (高者として) の広告に依り、空間

豆腐 (高者として) の広告に依り、空間

豆腐 (高者として) の広告に依り、空間

豆腐 (高者として) の広告に依り、空間

豆腐 (高者として) の広告に依り、空間

豆腐 (高者として) の広告に依り、空間

因定して是も三同存は人が之に  
 足りれば命にめもあてずよ本  
 ぼ、釋教して其のわが事來は得も  
 ので、耳か、人の眠の事、不して行  
 ずか、來る。

比率も多し。こゝな高堂は新市の歴史とて

一方はこぢりかゝり、近人、知うせし型、あり

一方は、世界の型、あり。

一方は、力の、あり。

百代具存の、あり。

何れも、あり。

の、あり。

マス、あり。

オ、あり。

此、あり。

業、あり。

此、あり。

此、あり。

人通りかまう、あり。

\* 商店の広告はその間に買手に  
 可能のあり人々への  
 であるが、本 商店の  
 工場の商店は四角よ  
 のあり人々への  
 本商店の  
 商店の  
 金口ル及びが商店の  
 ばせいぐり力ル  
 のゆりのよ。  
 商店は地域的であり商店は  
 地域的である。

計画的

の生産が口民生活に必要

視的に配給されよう

機関を必要とし

水と力よ、

製造業

この記号を

としその

商店の

商店の

商店の

商店の

人は

それ

計画的

氏他



多岐の

顧客の心を惹きつけて購入する様にさせる為

は広告だけでは不十分、信用を築く事

が大切である。商人は知って居る。その

店に来て購入するよりも、余り不便な

人はその果敢の人の心を捕らう

である。顧客の圈は余り大きくない

よりPの内の人々である。そのより手

よくない。人は屢し、其の地に居るの

商店とパーセントな接觸を望む

しこの好意を感じ、其の地に居る

文字を、登壇以外の事、其の心に

代りの富の多様である

都市の高家には、代りの信用が、其の富

信用  
都市の高家の信用が、其の富

然し都市の高家は、商店自身の信用

を、その為には努力する。その下

か、その信用を、其の努力する

の、其の信用の、其の努力する

係の、其の信用の、其の努力する

現在、其の信用の、其の努力する

其の、其の信用の、其の努力する

店は土地の、其の信用の、其の努力する

其の、其の信用の、其の努力する

された、其の信用の、其の努力する

を、其の信用の、其の努力する

都市の高家は、其の信用の、其の努力する

都市の高家は、其の信用の、其の努力する



産 老舖

銀の昔の高店は富と信用を造る家柄の中  
に高積しもの、信用はその店の上へ高なる  
を蓄えたからよい高積はそ店で作ったもの  
又作らしたものは、その店を取らざるへんもので  
他店のものは存した。美点あるもの。

今の銀産の高店は高積かもの貯うしへ  
ものも蓄えよ店古い型か蓄え貯うと  
大豊生産のものばはこ蓄え貯うと同じ、別部  
に信のとこ蓄え貯うへはよい。  
銀産の蓄え貯うの蓄え貯うは年人  
一人、然し貯積かもの蓄え貯うの下  
大よかりな蓄え貯う

高積かもの蓄え貯うは同一  
高積かもの蓄え貯うは民権化され  
銀産の高積かもの蓄え貯うは永久  
貯うは銀産の蓄え貯うは永久

の高積かもの蓄え貯うは民権化され

押しの口けと大きな企業体の大量生  
産 ~~本取れぬ~~ (十)

大企業体の製もはマス、コミュニケーション  
による大規模に生産され、たすまの  
向に金口は信用され、その日おまの  
製造品はわさい田舎町の各々  
なす、第一階にある、高積か信用  
をうたはよいのと五、何人か  
貯積かもの蓄え貯うは同一

高積かもの蓄え貯うは民権化され  
銀産の高積かもの蓄え貯うは永久  
貯うは銀産の蓄え貯うは永久  
大量の生産は、その地域は

同様に下町の山南土で作る水  
也如とも高島の徳信は同様に  
~~高島~~と改定は如何なる道路の上  
に元差支へた。高島を用ひるは  
なほ増修とせしむる便利の中  
にせしむる。此れを以て用ひ  
しとあり。

然し高島の代用は店に附着し、所生  
土地に因るべき也。故に高島の  
子業を觀ては自ら地域的に限るし。  
百世を代は人に十才を限るべき  
也。

然し地域性のない高島は広島の力

又

のみで、全体的なところを世界的な存在。

高層ビルは、<sup>ヤマトの</sup> 4層の店まで、敗戦を見せると

大層な店屋の

高層ビルは、<sup>東京の</sup> 芝浦に、<sup>東京の</sup> 人が

集まるとして、<sup>東京の</sup> 高層ビルは、<sup>東京の</sup> 都心は不

用で、<sup>東京の</sup> 高層ビルは、<sup>東京の</sup> 人が集まる。

都市にのみ存在し得るもの。

高層ビルは、<sup>東京の</sup> パンクな人々人の集結を

実現し、<sup>東京の</sup> 高層ビルは、<sup>東京の</sup> 水の流れに、<sup>東京の</sup> 八丈に

水の流れ、<sup>東京の</sup> 水の流れの分岐、<sup>東京の</sup> 大甲の

分岐機、<sup>東京の</sup> 高層ビルは、<sup>東京の</sup> 配給可能で、<sup>東京の</sup> 水が

本来の商業である。<sup>東京の</sup> 高層ビルは、<sup>東京の</sup> 物の交

流の結節機、<sup>東京の</sup> 高層ビルは、<sup>東京の</sup> 高層ビル

ほかのものを性格づいて考へてみる  
である。

マス・コミュニケーションは口の中央より口の末端  
まで一瞬にして連絡するもので、中々の結節  
を完全な行程するものがあるが、高層級の交  
流は結節の組織には中央に束縛する  
達するものは困難である。それは、  
之が科学的に知られた社会主義的であるから  
も同様である。商店は高層級の道徳と  
して存在する。但し、結節の組織は、  
高層級の組織は、その中心を、  
高層級の組織の中心を、  
高層級の組織の中心を、

大量生産の商標の波の中は浸し起  
高橋店は只大量生産の商標の流布  
の弊(文)としてクサ存続すると  
はれよ。

林業海尺の分類  
 村落 (一戸) 地方都市 (一戸以上) 大都市 (十戸以上)  
 甲都市 (五百以上) 大都市 (十戸以上)

市二部一都市を法に於ける空間的秩序  
 (市二部一都市) 都市分類の理

都市の分類の二つに人口規模による。

分類がある。大都市 (一戸以上) 中都市 (十戸以上) 市 (一戸以上)

市の別がある。曾二松は農村

あり都市を散家して二部一都市

に對する構造的な考へを保持する

市は人口規模による分類法を

その中に用い、大中の都市の下に田

舎町と高層群集と孤立商店を

分類し大都市より孤立商店に

對して都市の中心都市性といふ

ものか漸次都市性といふ

漸次都市性といふ  
 傾向を理學せんと



打掛のついで

夏場もある

和信としては都市税の増大は商店の

救済<sup>又は比率</sup>にあつて事を認めれば都市以上の都市に

つては世帯用にして人に扱はるゝの分

によつたのである。

田舎界以下の夏場割合に於ては都

市税を商店の<sup>又は比率</sup>の多寡に認めたり

は全く誤りで其ことは疑いなく

け水とて都市税を決定するものは

商店又ははたして今では認め

て居る。

今では凡そ私考へては都市を

村井より区新よりはし都市

國がその領域を有しなるとすれば  
結算的機關とあるが、彼らは  
農学や工業の如し。工業は生業とし  
ては國の領域を以てする。得意  
之の領域である。

の大きさを決定するよりも、  
文化的交流の結算的機關である。  
高層は物物の交流の  
結算的機關である。政治的  
の結算的機關としては、  
教育の交流の結算的  
として、それや映画、技術  
文化の結算的機關として、  
機關がある。工業の  
結算的機關とあるのは、  
あゝと昔は、國境を  
あゝ、常々、  
文化の結算的  
機關である。

この存在は、  
の存在である。

文化的交流

△ 因 知 内 市 街 地 の 全 生 業 の 結 節 的 関 係

( 都 市 有 才 機 関 は 皆 結 節 機 関 と 解 す

と 予 計 出 来 ぬ 不 知 知 ぬ 本 邦 都 市 機 関 の 集 束 大 野 三 郎 は 都 市 下 等 也 )

と 予 計 出 来 ぬ 不 知 知 ぬ 本 邦 都 市 機 関 の 集 束 大 野 三 郎 は 都 市 下 等 也 )

と 予 計 出 来 ぬ 不 知 知 ぬ 本 邦 都 市 機 関 の 集 束 大 野 三 郎 は 都 市 下 等 也 )

と 予 計 出 来 ぬ 不 知 知 ぬ 本 邦 都 市 機 関 の 集 束 大 野 三 郎 は 都 市 下 等 也 )

と 予 計 出 来 ぬ 不 知 知 ぬ 本 邦 都 市 機 関 の 集 束 大 野 三 郎 は 都 市 下 等 也 )

と 予 計 出 来 ぬ 不 知 知 ぬ 本 邦 都 市 機 関 の 集 束 大 野 三 郎 は 都 市 下 等 也 )

と 予 計 出 来 ぬ 不 知 知 ぬ 本 邦 都 市 機 関 の 集 束 大 野 三 郎 は 都 市 下 等 也 )

と 予 計 出 来 ぬ 不 知 知 ぬ 本 邦 都 市 機 関 の 集 束 大 野 三 郎 は 都 市 下 等 也 )

と 予 計 出 来 ぬ 不 知 知 ぬ 本 邦 都 市 機 関 の 集 束 大 野 三 郎 は 都 市 下 等 也 )

と 予 計 出 来 ぬ 不 知 知 ぬ 本 邦 都 市 機 関 の 集 束 大 野 三 郎 は 都 市 下 等 也 )

と 予 計 出 来 ぬ 不 知 知 ぬ 本 邦 都 市 機 関 の 集 束 大 野 三 郎 は 都 市 下 等 也 )

と 予 計 出 来 ぬ 不 知 知 ぬ 本 邦 都 市 機 関 の 集 束 大 野 三 郎 は 都 市 下 等 也 )

区域の行政官庁の所管

① 国との関係は統制の範囲、学校

の通学区域、<sup>警察官庁</sup>警察区域、商店の

購買力の地域、穀物や動植物の置の

置入の地域、<sup>屋敷地</sup>屋敷地の置入の

地域、床屋の業務の範囲等皆然り

で、その業務の及ぶ地域である。

それ等の各役は皆国がその区域内の

人々に接して中心の役地位にあるが、

かくの如き中心を国がその上に<sup>業</sup>取の甲

心かゝるれば、その国がその区域

内にある。故に交流の経済的機能

国と云ふべきである。\*

可以

② 意義に類するもの。支配統治は分権、

身入るもの、身入るもの、奪取し、奪取

外し、総て都市院の上位と下位に

あり、同じく、<sup>上位と下位</sup>上位と下位

の異なる系、<sup>交通の便</sup>交通の便、<sup>都市院</sup>都市院

も、<sup>交通の便</sup>交通の便、<sup>都市院</sup>都市院

中央集権、その存在、<sup>都市院</sup>都市院

なし、都市院、<sup>都市院</sup>都市院

は、<sup>都市院</sup>都市院、<sup>都市院</sup>都市院

中央集権、<sup>都市院</sup>都市院、<sup>都市院</sup>都市院

存在、<sup>都市院</sup>都市院、<sup>都市院</sup>都市院

都市院、<sup>都市院</sup>都市院、<sup>都市院</sup>都市院

何千年か、<sup>都市院</sup>都市院

中世、<sup>都市院</sup>都市院

経済的機能の合理的配分、<sup>都市院</sup>都市院

常設機関

交通機関  
行政機関  
治安機関  
娯楽機関  
娯楽文化機関  
井上七三機関 (忠行工医)

結局的

常設機関 高老忠場 結局的

製造製造

都市との関係は支配と被支配の上

に存在して来たもの様である。

五段階も考へてみる。

1. 高老忠場や井上七三が其の果敢に内にお

て活動するもの。 農村部の中心に孤立商店や高老

忠場も存在するもの。 高老忠場と孤立商店がある

2. 高老忠場が其の果敢に外郭の

存在するもの。 高老忠場の中心に市街地が

存在するもの。 高老忠場の中心に市街地が

高老忠場

高老忠場の中心

高老忠場の中心



△ 結節的機關は行政の統制の上でも  
 都市性を有するものは寧ろはたつた  
 行政的結節機關と壹置結節機關  
 同様に對し甚しく都市性を有する品  
 の據りである。その意味に於ては商店  
 の敷居及び日比谷口と都市の順位との  
 同存、及び行政的機關の國と地域  
 の広狭別とその機關の存する都市の  
 順位との間には平行の同存である  
 水と砂の事。  
 結節機關としての工場及と商店との同  
 存は項を以てして論じてゐる

結節機關の國と(國)の広狭別とつては  
 試みられぬ。五種の都市分れ又は  
 人口覺や地域の規模を結果として  
 俾へて居る。人口規模によつて分れ  
 ば人口覺上の分れ と云ふより 地域の  
 規模によつて分れは地理學的の分  
 別 と云ふより 對し、右の五種の  
 の分れは社會的國性にもよつて分る  
 べき。何分れと云ふや、か、出来や、  
 け、  
 かのこゝには、  
 かと云ふや、か、出来や、  
 かと云ふや、か、出来や、  
 △

構成様式  
 規模

外支(最近一週分)

科目別	支数	大阪府	神戸	京都
買物	644	95		
映画	224	94		
訪問	57	<del>4</del> 56		
	98	43		
教育	27	56		
診療	21	48		
	20	30		
医療	13	85		
高用	86	73		
社用、公用	35	37		
官公庁	6	33		
合計	1,264			
その他利用件	33	76		

堺市の場合

假令の内容は  
假令の内容は、そのものを同一にするものではない。假令の内容は、そのものを同一にするものではない。

100

第一項 都市の生活構造

第一項 都市の生活構造

第二項 都市の生活構造

第三項 都市の生活構造

第四項 都市の生活構造

第五項 都市の生活構造

第三項

都市の周囲に足らぬものは、この社会

国の空間的構造

この問題は、昨今の諸系の中に都市

の内外に存在する。第一に、この社会

の内外に存在する。第一に、この社会

第一項 都市の生活構造

第二項 都市の生活構造

第三項 都市の生活構造

第四項 都市の生活構造

第五項 都市の生活構造

第六項 都市の生活構造

第七項 都市の生活構造

第八項 都市の生活構造

第九項 都市の生活構造







子家としての統一であつて皆それをおの  
地域性を予せしめようものか  
望しむその統一はいかに  
都市の  
外よりかへ内よりかへ向て  
都市  
治安と秩序の渦中にあると考へる  
この二面より、都市は果して混沌激  
流の共におしよるの境に  
おちよるべきか、  
か、項を改め、都市の生活地域の  
生活構造を見よと見やうか

